

カレッジ防衛モニター最後の活動 ～「神奈川自衛隊音楽まつり」に参加して～

神奈川地本カレッジ防衛モニター 亀谷 拓海

2月26日(日)、カレッジ防衛モニターとして、神奈川県民ホールにおいて開催された「神奈川自衛隊音楽まつり2017」に参加した。

今回の活動は、音楽鑑賞以外にも、スタッフとして地本職員に混じり運営も経験させていた。私が担当したのは、同音楽まつりの出演団体への弁当の配分や会場受付における来場者へのパンフレット等の配布であった。

弁当の配分では、会場裏にある各団体の楽屋を回ったが、普段は立ち入ることができないエリアであり、何だか特別感みたいなものを感じた。

その仕事が一段落すると、次は来場者の受付準備に入った。受付で人の流れが滞ることがないように、モニター同士で作業の役割分担や各人の配置などの方策を立てて臨んだものの、来場者が想像以上に多かったこともあり、配り損ねることなくスムーズに受渡すことの難しさを、身をもって体験することができた。

スタッフとしての仕事が終わわり、我々モニターも音楽まつりを鑑賞した。演奏曲の中には、自分の知っている楽曲も何曲か含まれており、とても楽しく鑑賞することができた。また、フイナーレでは全員で「ビリーブ」を合唱し、会場全体が一体感に包まれるなど、出演者と来場者の距離感の近さを感じることもできた。

今回の活動が、モニターとしての最後の活動である。この一年間の活動を振り返ってみると、モニターに委嘱されなかったら経験できないような貴重な体験ばかりで、大学卒業後は自衛官を熱望している自分にとって、とても有意義で充実した一年であった。

退職予定隊員就職連絡会議を実施 「労働局・ハローワークとの協力関係を強化」



労働局・ハローワーク等の関係者が一堂に会した会議の様子

自衛隊神奈川地方協力本部(本部長 1等海佐 松田辰雄)は、3月7日(火)、同地本において「平成28年度神奈川県自衛隊退職予定隊員就職連絡会議」を開催した。

本会議は、神奈川労働局及び県内ハローワークと自衛隊援護関係者との間で意見交換し、相互の協力関係の強化を図るとともに、退職自衛官の就職の援助状況についての認識を共有することを目的に、同地本が主催したものである。

当日は、神奈川労働局と県内ハローワークから9名、自衛隊援護機関や自衛隊援護協会等から8名の参加を得て、県内における中高年者に関する職業紹介状況や退職自衛官の就職の援助状況についての認識を共有した。

また、中高年女性や疾患者に対する就職支援についての意見交換が行われ、ハローワークにおける考慮事項など、自衛隊援護関係者のノウハウ蓄積のための貴重な機会となった。

神奈川地本は、「今後も、職業紹介機関と自衛隊との協力関係強化のため、引き続き情報交換の場を設けていく」としている。